

インターンシップに参加して

高3女子

私は、8月25日・26日に「望みの門 富士見の里」でインターンシップに参加しました。

私は、高校で福祉を学んでいます。ある程度の事はわかっているつもりでしたが、実際に現場に入り、実習を行うと、難しく大変だと思うことがたくさんありました。学校で、友達同士で実習するのと実際に利用者さんを介助するのでは、全然違いました。学校の実習では、相手に「動かないで」と言っても、動いてしまうので軽く感じます。しかし、お年寄りは、本当に力が入っていないので、体が細くても、重くてなかなか動きませんでした。オムツ介助も実際に見せてもらいましたが、嫌がる人など様々な人がたくさんいて、大変そうだなと思いました。でも、素早くスムーズに変えている介護士の方を見て、素直にすごいなと思いました。利用者さんからも、たくさんのお話を聞くことが出来ましたし、充実した楽しい2日間を送ることが出来ました。

私は今、就職活動中です。学校で介護職員初任者研修を取得できるという事もあり、介護での就職を考えています。そんな私にとって、今回のようなインターンシップは、すごく貴重な経験になり、また、私の知らないことがまだまだたくさんあるということを知りました。介護はとても大変な仕事ですが、それ以上にやりがいなどを感じられる仕事だと思います。

私が介護士になったら、たくさんの人に笑顔をお届けられる人になりたいです。そして、たくさん感謝と笑顔が返ってくるような介護士になります。その為には、私自身も感謝の気持ちを忘れずに、また、利用者さんが良い人生だったと思えるように精一杯介護ができる介護士になります。

今回、このような時間を作っていただき、心から感謝しています。そして、現場で分かりやすく教えていただき、本当にありがとうございました。たくさんのお話が聞け、とても参考になりました。私はもっとしっかり勉強をし、介護職員初任者研修が取得できるよう日々努力して、立派な介護士を目指したいと思います。